



のうさんそん

11月1日号 農山村ネットだより

発行元
とよた都市農山村交流ネットワーク
代表 山本 薫久
豊田市桑田和町日面 71-1
tel・fax 0565-62-4011



セカンドスクール感想意見交換、

ホームステイ、子ども農山漁村交流プロジェクト交流学習会

(兼・拡大幹事会)

時 12月8日(火)午後6時30分から

ところ 足助交流館

豊田市足助町蔵ノ前16 0565-62-1251

(会場が変更されることもありますので、直前に事務局か幹事へ問い合わせを)



9月14日から3日間のセカンドスクール。古瀬間小学校63人の子どもたちが下山、足助、稲武、旭、小原の農山村地域の19軒にホームステイして農山村体験をしました。1日に50数人のホームステイ先家族や地域のインストラクターさんが子どもたちをサポートしました。ごくろうさまでした。

さて、下記の内容で感想や意見の交換会、学習会をしたいと思います。
拡大幹事会として開催しますが多くの会員のみなさまの参加を期待しております。

- 1, セカンドスクール感想・意見の交流
- 2, 学校の農山村交流の全国の状況、あり方、国の「子ども農山漁村体験プロジェクト」
(財)都市農山漁村交流活性化機構 ふるさと子ども夢学校推進部から講師
- 3, なくてもいいけど、通年やるなら「あったらいいな、農家民泊の資格」参考に
西村自然農園 西村文子さん

各地域会より～報告とお知らせ～

足助地区

「あすけ夢里まつり」に参加しました！



10月4日(日)に足助屋敷前広場で第2回「あすけ夢里まつり」が催されました。足助の町に関心を持っている若い方たちが企画し、50を超えるブースが出店されました。その中の1ブースを足助地域会がお借りして出店販売の参加をしてみました。出品した物はすべて足助地域会会員の手作りで、竹を燻した杖・良く飛ぶ竹トンボ・毛糸の帽子・シフォンケーキ・梅干しなどを持ち寄って販売しました。お客さんと会話を

を交わしながらの販売はとても楽しかったです。

また、NPOスローライフが行った、ハザ掛けをした稲を脱穀し・舂すり・精米を経てお米となり最終的にご飯になるまでの体験も沢山の若者や



子供たちが楽しんで参加していました。こんな体験が出来るのも田舎ならではのですね。薪で炊いた新米のご飯をおにぎりにして、体験された方たちにふるまわれました。若い人にとっては、新鮮な体験だったのではないのでしょうか？

来場者は、2千～3千人くらいの方がお見えになっていたとのことです。もし来年も「あすけ夢里まつり」が開催されるようでしたら、各地域の会員さんも手作りのものを持って参加されては如何でしょうか。



下山地区

9月20日(日)手づくり工房山遊里とその周辺で

「秋の山里大収穫祭」を行いました

豊田市羽布町にある「山遊里」とその周辺で行われた大収穫祭は、好天にも恵まれ、朝早くから農産物や新米を求める多くの来場者で賑わいました。



稲刈りや芋ほりなどの収穫体験や、きな粉作りや米パン焼きなどの料理体験には、終日にわたりファミリーの笑顔が見られ、この日のために特別に作られた「ジャンボくるくるソーセージ」や、「新米たまごかけご飯」などには、長い行列ができるなど、予想以上の人手となり、来場者もスタッフも、みんなで秋の恵みを楽しみました。

今後も、子ども達に、収穫の喜びや土をさわる楽しさ、自分の手で何かを作る面白さを伝えていければなあと思います。

さてさて、来年で山遊里も10周年。何やろうかなあ？

紅葉の三河湖を歩きませんか？「三河湖紅葉ウォーキング」のお知らせ

10月20日(火)から11月30日(日)の1ヶ月間を「三河湖紅葉ウォーキング月間」と題して、三河湖とその周辺の紅葉や田園風景を楽しんでもらえる3コースを設定しました。期間中は、三河湖周辺のお店10店舗がチェックポイントとなり、ウォーキングマップの配布のほか、各店舗で特典が受けられます。また、アンケートにお答えの方から抽選で5名の方に下山の特産品をプレゼント！秋の一日、紅葉を楽しみながら歩いてみませんか？

- Aコース 川沿いをのんびり。田園風景が広がります。
延長約4km、所要時間約1時間
- Bコース 三河湖1周。健脚自慢の方へ。
延長約15km、所要時間約4時間半
- Cコース 高低差あり。山歩きを楽しみたい方へ。
延長約6.5km、所要時間約2時間

<問合せ> 香恋の里しもやま観光協会 0565-90-2530



旭地区

こんな竹かご作ってみませんか？

ネットワークでもおなじみの「板取の家」の蔵で、竹かごを発見しました。柔らかな曲線で構成された素敵なかごです。素晴らしい技を持ってみえる人が元気なうちに、その技を引き継ごうと思うようになり、研修会を実施しました。10月26日の研修会で、「冠婚葬祭など人寄せの時に、あっちこっちで頼まれいっぱい作った。」と、講師の安藤さんは、昔、お椀や茶碗を入れていたことを説明してくれました。研修会参加者たちは、もっと多くの人に体験してもらおうと、作り方を教えられるように、技術習得に日夜励んでいます。

今後「竹かご作り」を計画します。皆様の参加をお待ちしています。



お問い合わせ先

とよた農山村交流ネットワーク旭地区幹事
鈴木正晴（豊田市太田町間瀬口 20）
電話 0565-68-3008

稲武地区

山里 Cyafe（ちゃふえ）での稲刈会の報告！

5月にみんなで田植えした田んぼ。まず赤米、黒米の小さな田んぼの方は、9月27日の山里学校で稲刈し、ハザ掛けしました。こちらは順調に終わりました。

一方、みねはるかの方の大きな田んぼは10月4日（日）、大阪、三重、浜松、愛知からの13名で、稲刈しました。田植え時、来てくれたミネソタ組に代わって今回はドイツの方が。さて、これからが大変！数日前に降った雨と水入れ口からの水漏れで田んぼはかなりぐちゃぐちゃ。ずっと天気がよかったので油断していました。みんな歩くのも必死。バインダーも柔らかいところはいれないので、手で刈るのはよいが、移動するのが田んぼに足をとられ、必死。バインダーで刈った稲を運ぶのも必死。なんとかそれでもお昼までに3/4は終了しました。参加者の皆さんは泥んこになりながらもがんばってくれました。ほんとお疲れ様でした。子供たちも二人いましたが、いい子でお手伝いしてくれ、コオイムシ（小さなタガメみたいな）をたくさん獲って喜んでいました。苦労と引き換えに強烈に思い出に残る稲刈になりました。・・・残りは翌日二人で何とか。ただ、これではすみませんでした。先日の台風でハザは倒れ、またハザ掛けやり直し。

さて、お米の味は……。収穫祭は12月6日の予定です！



どんぐり工房今後の予定

- 11月7日/竹と和紙のランプシェード 8日/豆腐作り
14日/手打ちうどんではとうとう21日/布ぞうり 22日/草木染め
12月『親子チャレンジ体験冬講座』5日/クリスマスリース 6日/まつぼっくりツリー
12日/お年取りの料理 13日/クリスマスプレート 20日/しめ縄 23日/わらの亀
26日/まゆの干支「寅」27日/ミニ門松
1月には、こんにゃく作り、味噌作りなどを予定しています。
問合せ：どんぐり工房 0565-83-3838
<http://www.dongurikoubou.join-us.jp/>（詳細はホームページをご覧ください。）

小原地区

NPO 矢作川 自給村稲穂の里の今年のお米収穫が終わりました。



今年のお米作りの作業がすべて終わりました。(ワラ切りなど残っておりますが。)3月からスタートして、10月18日までで今年のお米作り体験のカウントを打ち切りました。参加ごとに出席時間をカウントして、総出席時間を収穫したお米の量で割って分配しますので、計算する上で区切りをつける必要がある為です。今年山里学級の田植えイベントや愛農の田植えイベントもあり、手植え作業もしましたが、大方はトラクターで耕起、代掻き、田植え機で田植えをしましたので作業が軽減されました。それでも田の隅は手植えだし、草取り作業が大変でした。皆さん「除草剤散布はイヤ」といわれますので、その分、肉体労働を強いられます。言うのは簡単ですが実行する事は大変です。理想と現実を体験する良い学びの時間でもあります。しかし米糠除草の技術が確立されつつあり、昔に比べれば雑草に負ける事はなくなりました。

今年の活動は行政の援助もあり、MY田へ制度への積極的な人材育成の場としてのNPOとなりました。新会員も多く入会されましたので指導が大変でしたが、活気ある一年が過ごせたと思っております。来年はここからMY田を持った会員が小原地区に広がって行く事でしょう。そして小原地区の田が荒れる事なく、守られて行く事を期待しております。11月7日が収穫発表と分配の日であります。

交流市民の会

やまさとに学ぶ 新しい生き方～山里学校～

「農家の暮らし一日まるごとやってみる！」9月25-27日、稲武の山里ちゃふえさんで行われました。参加者は農体験がほとんど初めてという女性7名。25日の夜に集合し自己紹介、夕食。

翌日は、有機・トマト・ブルーベリーの各農家さんに別れて草取りや畑作業のお手伝い。ちゃふえの「ニワトリをしめる」という貴重な体験もさせていただきました。3羽の鶏の命をいただいて夜は農家さんを交えて親睦会。最終日は黒米と赤米の稲刈りをしました。「(都会の)今の暮らしは全て人がやってくれたものを使って生活していることがわかった」「食が中心の生活が基本」「人に魅力を感じる。地元足もとを見直したい」など参加者それぞれに感じていただけた様です。回を重ねる毎に人との出会い、ふれあいの良さを改めて感じる山里学校です。



次回は11月14日(土)岩澤信夫講演会「耕さない田んぼ」
冬期湛水・不耕起移植栽培
問:山本 090-5453-6411
sigekayo@juno.ocn.ne.jp

また2010年1月「農山村と出会いと食(飯)」の会を予定(別紙参照)しています。



会員募集中!!

とよた都市農山村交流ネットワークでは会員を募集しています。

農林業体験希望者を受け入れてもいいかなあ。花木や昆虫の事なら何でも聞いて!

農業はダメだけど料理は自信があるわ。農家で泊めてあげるよ。

炭焼きならできるんだけど・・・ などなど、

体験の受入をしていただける方、お手伝いをしていただける方はご連絡ください。

都市部の方でもOKです。いろいろな協力をお願いします。

みんなでいっしょに楽しみましょう!!